

第4回神崎中学校区適正配置地域協議会 会議要旨

日時：平成26年11月25日（火）19：00～20：30

場所：こうざき小学校1階ホール

○出席者 27名（内代理出席 4名）、欠席者 2名

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

3. 議 事

(1) 視察について

①視察の報告

- ・11月13日に本地域協議会で実施した、併設型小中一貫教育校である賀来小中学校と小規模特認校の神崎小学校の視察について、事務局より報告を行った。

②意見交換

- ・視察に参加された地域協議会委員より、両校についての感想等を交えて意見交換を行った。

<主な感想等>

◎ 賀来小中学校について

【委員】視察では5、6、7、8、9年の5学年、中期と後期の授業の様子を見させてもらった。小学生5、6年生も中学生と変わらないような雰囲気で大人数で大人びているなど、そんな感じがした。授業では、コの字型に席を並べて子ども同士が互いに向き合って授業を受けており、みんな授業に集中している。互いに意見交換もされていて、すごいと思った。中学生と一緒に生活する中で、ほとんど溶け込んでやっている姿をみて、これは違うと感じた。質疑のなかで、宿題は学年で統一したものを提出しているとのこと、中学と同じような体制で、先生の横の連携もかなりできていると感じた。

【委員】生徒が非常に明るいと感じた。校長先生からも話を聞いたが、小学生時に勉強が解らなくなると中学に入って面白くない。習熟度別に指導するための教室を設けて、子どもの希望と保護者の面談により組み分けしている。教室にもどれば宿題は同じという事で差別感もなく、子どもたちが解るためにやっているとのこと、落ちこぼれというか、そういうことがなかった。

【委員】授業で遅れた方については専門の先生が個別に指導してくれるという事で、かなり素晴らしいイメージを受けたが、生徒数が多いという事で教職員の数も多いのでこのような指導体制がとれるのではと思う。こうざき小学校に置き換えた場合は先生の負担も増えるのではないかとという不安も抱いた。

【委員】賀来小中学校の規模では生徒数、教員数も多くそれで成り立っている。先生と生徒の相性、学年のカラーというのにうまく対応できるのだろうが、今の神崎中学校区では考えづらいし、先生の人数が限られてそこまで手が回らないといった状況になったときに、子どもがかわいそうに思う。

◎ 神崎小学校について

【委員】 校区外から来ている児童が全校の55%を占める、遠くは城原からという事で、大分市内各地から来ている。校区外からの児童の通学方法については、バスや電車で自力で通っているという事で自立した生活を送っている、6年間通せばすごい生活リズムが出来てくるのかなと感じた。授業でも子どもたちがのびのびやっているし、見ていて非常にさわやかな感銘を受けた。

【委員】 地域の方々の協力もかなり頑張っていた。小規模特認校を受けるにしてもこうざき小学校をかなり魅力のある学校にしなければならぬと感じた。

【委員】 神崎中学校区は地域的には充実した場所にはなるかと思うが、神崎小学校ほどの環境は整っていないと思う。小中一貫教育を充実させた上での小規模特認校であればこうざき小中学校区もいいところになるのではと思う。

【議長】 木佐上小や大志生木小の子どもたちがこうざき小に吸収されるのではなくて、三つが一緒になって新しい学校をつくるんだという事が、子どもたちにも地域にも大事な事だと思っている。今回その中で一つのモデルとして小中一貫校や小規模特認校もあるわけで、そういう議論もまた次回2月にあるので、もっと意見交換をしていきたいと思っている。

それと、考えておかなければならないのは、神崎中学校区の地域では全体が減っていく、3小学校がいっしょになっても減っていく、最後は坂ノ市に付きますかということも有り得るわけで、そういうことも見据えた上で、ここで3つがいっしょになったときに、逆に伸ばして行く、そういう考えをもって議論していきたいと思っている。

(2) 統合に伴う通学の支援について

①通学に係る調査結果について

- ・10月に行った神崎中学校区の児童生徒を対象とした通学に係る調査結果（会議資料）をもとに事務局より説明する。

<質疑なし>

②基本的な考え方について

- ・統合に伴う通学の支援に関する基本的な考え方について資料をもとに事務局より説明する。

<主な質疑応答>

【委員】 路線バスに乗る場合、路線バスのお金だけ補助するという事だが、例えば保険なんかはどうなるのか、保険までは考えていないのか。

【事務局】 保険については基本的に徒歩で通学している場合は小学校で加入しているスポーツ振興センターの保険に入っている。

バスで通っている場合、通学途中に事故があった場合には乗っているバスの保険になる。仮にタクシーとかになれば、そのタクシー会社の保険での対応ということになる。

【委員】 最初は教育委員会が、こういった補償をしますという話はするのだが、1年、2年と経つと「規約が変更となり、この交通補助は廃止となりました」とかね、そういう事になるのを聞いたことがある。今回の支援については容易に

は変えないという事でよいか。

- 【事務局】これについては補助が今後ずっと続くというのはなかなか厳しいかなと思う。実際に一尺屋中学校の統合の場合、佐賀関町時代の時でも10年間を目安として考えてやっていたという事で聞いている。統合に伴ういろんな支援を考えて行っているが、今後ずっと小学校4キロ、中学校6キロ以上についての制度は統合に伴わなくても続いていく制度だが、統合に伴う支援については何年間か、まだそこまで決まってないが、実際には期限を切ったものになるかと思う。
- 【委員】計画の段階だが、路線バスを利用する場合、今1時間に1本くらいしかバスが走っていないのだが、それをバス会社等に増便するとかいう考えはあるのか。
- 【事務局】もしバスを利用されるという事であれば、時間帯については可能な限り、都市交通対策課などとも含めて相談させていただきたい。なかなかきちっと望みどおりになっていくかということはあるかと思うが、もしバスで来られるという事になれば、時間帯についても協議していこうと思う。
- 【副会長】スクールバスとしてタクシーを利用する場合、4人乗り、あるいはジャンボタクシー、どちらにするのかをタクシー会社にまかせるのか、あるいはジャンボタクシーを考えているのか。
- 【専門委員】まず、基本的にジャンボタクシーを使うのか小型を使うのかは一番安価なもので決めていく。但し、どうしてもタクシー会社で要望どおりの配車ができないという事になれば必ずその車種を使ってくださいというのはできないかと思う。ただ、基本的には朝の登校が仮に1便で子どもの数が10人だった場合、その時はジャンボタクシーがベストな車種選択となる。そのジャンボタクシーの手配がかなわない時には小型が2台とかいう形になるがあくまでイレギュラーな範疇という事で、基本的なものは、まず決めさせていただくことになる。

③協議

- ・木佐上小校区から市教委との個別協議について報告

【委員】今月21日に市教委と本校PTAで協議会を開催して通学の支援に関する事を協議した。まずはじめに市教委より校区の状況についての説明を行った後、通学の支援の方法など詳細な内容などを聞いた。

まず、通学の支援については、本校保護者全員の希望であるスクールバスいわゆる、通学タクシーを運行してもらいたい。また、家庭の事情によっては自家用車の燃料代の補助を選択できるよう要望した。

通学タクシーの運行区間だが、木佐上地区内の指定する場所からこうざき小学校までを運行の区間としてその中間位置には停留所を設けることを可能としている。指定の場所と停留所の場所については木佐上校区の児童の居住状況により年度初めに協議して決定する形を考えている。

次に通学の時間帯だが、行きについては指定する場所から1便とし、発車時刻については学校行事との関係もあるため、今後協議を行い決定していきたいと考えている。帰りについてはこうざき小学校発の便を概ね2便として、新入生がいる場合には増便を行い学校行事に合わせて学校側が配車

の構成を行っていくことを確認した。

最後に通学支援を受ける対象者という事だが、現状、木佐上小学校区からこうざき小に通っている子どももいることから対象者については対象となる条件を十分に考慮しながら今後協議を行っていく事を確認した。

併せて支援を受ける期間も今後協議していきたいと考えている。

次に、通学路の支援について、引き続き道路拡張による歩道の確保ということで駅周辺の道路の改善を県へ要求していくことを確認している。尚、通学路の選択ということでは駅前の県道を通行せず、中山側のバイパスを利用することも学校側と協議をしていきたいと考えている。本校については残り期間が短い状態となっており、次の協議会の中では概ね支援内容を明確にしていきたいと思う。

- ・大志生木校区の状況について

【委員】大志生木のほうは、まだ話合いはできていない。10月のふれあいPTAで資料にも載っている、通学支援の補助金の資料を保護者の方にお知らせした。まだこれから協議をしていきたいと思っている。

(3) その他

第5回地域協議会の開催について

- ・次回の地域協議会日程について事務局より説明した。

<質疑なし>

<確認事項等>

- ・通学の支援については次回までに木佐上校区と教育委員会、大志生木校区と教育委員会双方で検討を進めること。
- ・第5回協議会を2月10日（火）の19時から、こうざき小学校1階ホールで行うこと。

8. 閉会のことば